



### 不登校児童生徒の居場所づくりについて

田辺 純子 議員



**質問** 不登校児童生徒の現状を伺います。

**答弁** 令和6年1月末現在、小学生47名、中学生113名、合計160名です。

**質問** 昨年度との比較増減や要因について伺います。

**答弁** 小学生は5名減、中学生は31名増となり、全体で26名の増加です。要因は

本人に係る状況によるものを中心で、無気力、不安が半数を占めています。

**質問** 中学生の31人の増加は多いし、思春期になつて

いる子どもたちの不安、無気力は成長、発達の過程であり、コロナ禍の影響等を考えると、本人自身の問題とするのは余りに酷です。



### 市長就任から3年、選挙公約の今見えてきた多くの課題について

吉野 高史 議員



**質問** 残り1年、選挙公約の進捗状況を伺う。みこしは軽くて〇〇がいい、3回シリーズの2回目、選挙公約を果たしているのか。合併問題は凍結状態になつている。これまで行政間で幾つの場合がなされたのか。

**答弁** 平成28年1月、板倉町長から市長へ合併協議会

の設置に向け話があり、同年4月、本市議会可決、同年6月、本市・板倉町合併協議会設立。15回協議し、全部で52の協定項目を審議し、29項目が決定された。

**質問** 合併協議にかかった費用と時間は。  
**答弁** 本市1204万円、板倉町828万円です。

支援、必要な措置についての対応、現状を伺います。

**答弁** 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律に基づき未然防止策等工夫改善し充実に努めます。

**質問** 学校で行っている不登校対応について伺います。

**答弁** 各校長が作成した不登校対策の取組に基づいた組織的な対応、館林市不登校対応早期支援プログラム「サンクス」を活用した対応、校内の余裕教室等を活

**質問** 凍結に至った状況を市民に説明したのか。

**答弁** 15回の中で1〜3回まで参加しました。

**質問** とんちんかんな答弁をしないでください。内部資料には、本市から「全

ていいとこ取りでは合併後の財政がもたない」板倉町から「館林市が3億円用意できるまで合併協議会は休止してもいい」とある。このように凍結に至っているが、どう考えるのか。

**答弁** 給食費の無料化が一

用した居場所の準備、ICTを活用したオンライン上での対応の4点です。

**質問** 不登校児童生徒の支援における課題を伺います。

**答弁** 不登校児童生徒が登校できても対応できる職員が限られていることなどの人的な配置や家庭の協力が得られない等が課題です。

**質問** 頑張つて登校した子どもたちに大人の都合で対応できないことは義務教育の学校であつてはならないし、家庭の協力は信頼関係

の要因と把握しています。

**質問** 本年度予算で中学3年生を給食費無料として、お茶を濁している。全て無料にしたらどうか。

**答弁** 合併協議に関わらず検討すべき事項です。

**質問** 以前、選挙公約の進捗を公開するとあつたが。

**答弁** 今後、ホームページ等で公開していきます。

**質問** なぜ今頃公開なのか。

**答弁** 整合性を取りながら今後公開していきます。

**質問** この3年間で、ごみ

の問題で、関係の構築に努めるべきです。学校内の相談体制について伺います。

**答弁** 相談体制を整備し充実するよう、市から学校へ指導し、学校では個に応じた支援策を検討しています。

**質問** 不登校児童生徒の居場所づくりの充実に向けて、今後の取組を伺います。

**答弁** 不登校児童生徒が学校内外の機関とつながり、安心できる居場所での学習機会を確保する等、選択肢を広げられるよう努めます。

の分別・資源化の状況は、どの程度進んだのか。

**答弁** 令和4年度から、板倉町・明和町とのごみ分別ルールの統一化を図った。

**質問** 資源化も聞いたが、ちゃんと答えてください。

**答弁** 令和5年2月に策定した館林市ごみ処理基本計画において進めています。

**要望** 約1億6000万円の市民の尊い税金が余計に使われている。厚生病院の負担割合を公平・平等にすることを要望する。